

# かいほ ジャーナル



愛します! 守ります! 日本の海

海上保安庁情報誌  
Japan Coast Guard Journal

Vol. **63**  
2015 SUMMER

特集 関西空港海上保安航空基地  
海と空から  
関空周辺の安全と  
治安を守る



# かいほ ジャーナル

C O N T E N T S



Vol. **63**  
2015 SUMMER

## PHOTO GRAVURE

- 1 日本赤十字社との相互協力協定を締結
- 1 船舶の交通整理を行う信号所のLED化第一号
- 2 海上保安大学校・海上保安学校卒業式
- 2 全国初! 女性署長・女性所長・女性機関長の誕生
- 3 「MICSスマートフォン用サイト」の試験運用を開始
- 3 練習船「こじま」遠洋航海へ出港

### 【特集】

関西空港海上保安航空基地

- 4 海と空から関空周辺の  
安全と治安を守る



## TOPICS

- 10 **関西国際空港 エトセトラ**  
～特集では伝え切れなかった関西空港をここで～

- 12 **NEWS FLASH**

裏表紙

## INFORMATION

大切な命!自分で守る～海上保安庁からのお願い  
海上保安大学校・海上保安学校採用試験



## 日本赤十字社との相互協力協定を締結



3月6日、海上保安庁と日本赤十字社は、広域に被害の及ぶ大規模災害が発生した場合において、海上保安庁の機動力と日本赤十字社の医療能力というそれぞれの強みを活かし、迅速かつ円滑に救護・救援活動ができるよう、その相互

協力について「海上保安庁と日本赤十字社との業務協力に関する協定」を締結しました。

今後、海上保安庁と日本赤十字社は、この協定の目的が十分に発揮されるよう、定期的に訓練を行っていくこととしています。

## 船舶の交通整理を行う信号所のLED化第一号



3月8日、信号により東京東航路を航行する船舶の交通整理を行う「十号地信号所」の管制信号板が全国で初めてLED化されました。従来の

電球からLEDに改良されたことにより、表示文字がよりシャープに点滅し見やすくなったほか、電源の省エネ化や長寿命化が図られました。



海上保安大学校・海上保安学校卒業式



海上保安大学校

3月15日、海上保安学校（京都府舞鶴市）において青木国土交通大臣政務官ご列席のもと卒業式が執り行われました。卒業生は全国の巡視船艇や海上保安部署等の現場第一線へ赴任し、それぞれの海上保安官人生の新たな一步を力強く踏み出しました。

また、3月22日には、海上保安大学校（広島県呉市）において太田国土交通大臣ご列席のもと卒業式・修了式が執り行われました。本科卒業生は今後専攻科へ進み、遠洋航海等を通じ国際感覚の涵養や、専門的な学術・技能を培います。特修科修了生は初級幹部として、現場へ赴任しました。



海上保安学校

全国初！女性署長・女性所長・女性機関長の誕生



中林署長



福良所長



新妻機関長



戸田機関長

4月1日、木更津海上保安署に中林署長、下里水路観測所に福良所長、清水海上保安部巡視艇「みほかぜ」に戸田機関長、坂出海上保安署巡視艇「みねぐも」に新妻機関長がそれぞれ着

任しました。

海上保安署長、水路観測所長、巡視艇の機関長に女性が任命されるのは海上保安庁では初めてのことです。





Photo Gravure  
**5**

「MICSスマートフォン用サイト」の試験運用を開始

海上保安庁は、プレジャーボート、漁船等の小型船舶運航者やマリンレジャー愛好家等に対して、海の安全に関する情報をウェブサイトや電子メールで、リアルタイムに提供する沿岸域

情報提供システム（MICS）を運用しています。4月10日からは、最近、利用者が増加しているスマートフォンに対応した「MICSスマートフォン用サイト」の試験運用を開始しました。



Photo Gravure  
**6**

練習船「こじま」遠洋航海へ出港



4月28日、練習船「こじま」が世界一周の遠洋航海実習に出港しました。広島県呉市を出港し、ホノルル～コスタリカ～パナマ運河～ニューヨーク～マルセイユ～モナコ～スエズ運河～シンガポールを経て8月6日に帰港する、総日数101日間、総航程約45,000kmの航海の中で、実習生たちは船艇初級幹部として必要な知識、技能を習得するとともに精神力、実践力及び統率力の練成と国際感覚を養います。





航空機4機、船艇2隻を擁する関空基地。海空の勢力を兼ね備えた海上保安航空基地はこの関空基地と中部空港海上保安航空基地の2カ所があるが、機動救難士を配備するのは関空基地だけだ。

# の安全と治安を守る

## 保安部機能を兼ね備えた航空基地

大阪湾泉州沖約5 kmの海上にある関西空港。平成6年に開港した西日本最大規模の空港で、日本初の完全な人工島による海上空港である。そして旅客・貨物共に24時間運用している日本初の空港でもある。

そんな関西空港がある空港島の一角に、第五管区海上保安本部関西空港海上保安航空基地（以下、関空基地）がある。

「海上保安航空基地とは、保安部機能を持った航空基地のことです。船艇を使った保安部の機能、権限を航空基地が兼ね備えることで、船と航空機を密に連携させて運用することができる新しい形の航空基地。関空基地はその魁と言えるでしょう」と説明するのは大橋功基地長。

関西空港が開港した平成6年、海上保



関空基地は空港島の北側、連絡橋に近い場所に設置されている。関空の滑走路が隣接している。



外国人利用客の増加も著しい関西空港、  
そして物流の大動脈と言える航行ルートでもある  
泉州の海域を海と空から守る役割を果たしている  
関西空港海上保安航空基地。

ここは全国でただひとつ、  
船艇と航空機、機動救難士を有する基地でもある。

取材・文／松沼 猛 (Studio EVO)



関西空港海上保安航空基地

# 海と空から関西周辺



大橋功関西空港海上保安航空基地長は「船艇、航空機、機動救難士という高度な専門家集団を統合して、つまり三位一体として機能させていくことが重要と考えています。」と語った。

安庁はこの地に関西空港海上警備救難部を発足させていたが、平成16年10月に八尾航空基地を移設して統合したのが関西基地である。

「関空は完全な埋め立て地に立地した海上空港です。この関空の安全安心を守るために、海上保安航空基地として移設、発足しました（大橋基地長）」

関空基地には2隻の巡視艇と4機の航空機が配備されている。

巡視艇「さしかぜ」「そらかぜ」はいずれも20m級CL型で、関空周辺海域の安全を守るために24時間体制で海上の監視、警戒を行っている。

航空機はサーブ式SAAB340B型（以下、サーブ340）と、ユーロコプター式EC225LP型ヘリコプター（以下、スーパービューマ225）を2機ずつ配備する。サーブ340B型は高度な監視機能を持ち、第五管区とその隣接管区の区域を分担水域として、上空から海上の安全や治安の確保を図っている。





スーパーピューマ225と機動救難士によるリベリング降下。機動救難士はロープ1本で18~30m下の目標へ向けて自力降下する。ヘリコプターの整備士も同乗しホイスト要員として救助をサポート。

またスーパーピューマ225は、海上保安庁のヘリコプターとしては最大級かつ高性能で、しかもつり上げ能力も高く、事故や災害時の人命救助でもその威力を発揮する。

関空基地は海と空の両面から周辺の安全を守るほか、海難事故や航空機事故など、重大事故が発生した際も的確に対応できることを使命とし、機動救難士を9人配属している。

「空の海猿」とも呼ばれる機動救難士は、関空基地発足翌年の平成17年4月1日に初めて配属された。関空基地では事故や災害が発生すると、機動救難士が搭乗し

### 航空チーム



#### サブ340B「はやぶさ」

速力463km/h。2機が関空基地に配属され、五管区とその周辺海域の哨戒にあたり、数々の功績を挙げた。

#### スーパーピューマ225

海上保安庁で最大級のヘリコプター。機動救難士、潜水士、ホイスト担当が乗り組んで人命救助にあたる。2機が関空基地に配属されている。

### 船艇チーム



#### 巡視艇CL41「きしかぜ」

20メートル型巡視船で速力は30ノット以上。平成6年の関西空港海上警備救難部発足時に建造配備された生え抜きの巡視艇である。

#### 巡視艇CL131「そらかぜ」

「きしかぜ」と同じ20メートル型巡視艇で、平成14年3月に就役した。巡視艇は関空周辺海域の監視と警戒のほか、機動救難士の訓練にも参加する。

## 三位一体で安全を守る

海の専門家である船艇チームと空の専門家である航空機、そして人命救助のエキスパートの機動救難士が揃って配属されている基地は、全国でも関空基地だけだ。それら専門家たちが三位一体となって安全的確に活動を行うことが関空基地の使命でもある。

### 救助チーム



#### 機動救難士

ヘリコプターで出動して救助活動を行う潜水士が機動救難士と呼ばれ、関空基地には9人が配属。そのうち3名が救急救命士の資格を持っている。

たヘリコプターを現場へ急行させて、迅速かつ的確に人命救助にあたる。

機動救難士は発足から10年間に、約100件の出動回数と約3000人の救出実績を上げた。

実は巡視艇、航空機、そして機動救難士が同時に配属されているのは関空基地だけだ。海、空、そして人命救助のエキスパートがそれぞれ専門的で難しい仕事をするわけだが、しっかり状況を把握しながら三位一体となって活動していかなければならない。

第五管区には物流の大動脈と言える重要な航行ルートがあり、外国の船が多く航行する。重大な海難事故も数多く発生するエリアだ。だからそれら重大事故に的確に対応する能力が必要とされ、そのための訓練を日々行っている。

大橋基地長は「空と海、そして人命救助の専門家集団を持っているのが関空基地です。高性能な航空機、24時間体制での船艇による警戒、そして「空の海猿」とも呼ばれている高度な技術を持った機動救難士。それらをしっかりと安全管理して、基地の総合力としていろいろなミッションに対応していくことが求められているといえます。そのためにも、私自身もリーダーシップを発揮して安全を基盤とした活力ある基地を作っていくことが求められていると思います」と語った。

### 関空基地の能力を活かした実績

そんな三位一体を柱とする関空基地は数々の実績を持っている。航空機による



実績の例としては、第八管区の島根県浜田沖の領域内で違法操業を行った韓国漁船4隻を地元の巡視船や航空機などと連携して検挙した。

また、平成21年2月7日の午後11時30分、高知県室戸岬沖約50マイルで不審な中国籍の漁船を発見して継続監視を実施。漁船から降ろされた小型搭載艇が、漁港の防波堤に接岸してバググ4個を陸揚げ放置するのを確認後、警察に通報。現場に赴いた警察官がバググ内に約120キログラムの覚醒剤を発見し、覚せい剤取締法違反で中国人を逮捕した。

平成21年に発生した熊野沖での客船「ありあけ」座礁事故では、関空基地のヘリコプターが出動。悪天候下の困難な海難事案であったが、機動救難士が決死の救助を実施した。

平成25年に和歌山県友ヶ島沖で発生した38協丸転覆海難事故では、ヘリコプターと機動救難士が出動。午後4時35分



サブ340パイロット 齊藤憲作(28歳)

「機長と副操縦士の体制で運用しています。飛行機はヘリコプターよりも遠くに飛んでいきますので、広範囲の警戒をすることが可能です。また事故現場や災害現場の上空にいち早く急行して、現場の状況を調べてヘリコプターや船艇に報告して救助のサポートをするなど、それぞれのメリットを活かした連携をしています。



スーパービューマ225パイロット 上代 優(37歳)

「ヘリコプターは機長と副操縦士の体制で運用しています。ヘリコプターの魅力はホバリングができるので、機動救難士の人命救助に携わることができる点ですね。スーパービューマは輸送力に優れていて10人ぐらい救助することができます。強力な分吹き下ろしも強いので、ホバリングする時は下の状況に気を配るようにします」



スーパービューマ225整備士 佐藤貴一(33歳)

「ヘリコプターの1年点検まで我々が担当しています。整備や修理が完了したときの達成感は最高です。また救助時も整備士が2名搭乗し、1名がホイストマン、もう1名がホイスト補助を行います。つまり機動救難士や要救助者のつり上げを担当しているのです。人の命を上げ下ろしするのは緊張しますが、これもやりがいを感じます」

関西空港海上保安航空基地

## 海と空から関空周辺の安全と治安を守る



巡視艇「そらかぜ」船長 松元 匡(49歳)

「巡視艇は24時間勤務を基本として関空周辺海域の警戒にあたっています。機動救難士の訓練のサポートや、航空機と連携しての取り締まりも行っています。特に夜間は航空機のレーダー監視との連携で現場に急行できます。同じ基地に船艇と航空機がいるので連携もとてもやりやすいですね」



巡視艇「そらかぜ」航海士補 藪村光治(27歳)

「現場に出て2年8カ月。関空基地にはこの春転属してきました。大型の巡視船と違って小型巡視艇のCL型は様々な業務があります。それに5人で動かさないといけないので、自分たち各自がいろいろな仕事をしなければなりませんし、それぞれの責任も伴いますが、その分やりがいはあると思います」

頃に船底に移乗したところ、船内からの打音を確認した。そして基地長の指示を受け、午後4時53分に上野康朝、村上彰宏、2名の機動救難士が船内に取り残されていた生存者を海上に救出した。

そして、平成23年3月11日に発生した東日本大震災ではサブ3402機とスーパービューマ2251機が対応。出動件数52件、救助件数12件に及んだ。特にスーパービューマは高いつり上げ能力や、

人員収容力を遺憾なく発揮。111名を救助している。海上保安庁が東日本大震災で直接救助したのは360名。このうち、航空機による救助が約8割となるが、関空基地のスーパービューマ225は、その内の約4割を救助したことになる。

大橋基地長は関空基地配属前に震災エリアに配属され、震災対応に従事してきた経験がある。また関空基地の南には南海トラフがあり、震災、津波対策のため

にも関空基地は重要だと考えられている。実際東日本大震災の救助活動で威力を発揮した航空機。これは前述のとおり、海上保安庁の救助者数の約8割が航空機によるものだったことで裏付けられている。「航空機の機動力はとても重要ですし、海保以外の航空機とも連携して、迅速かつ的確に救助活動をしていくことが大事だと思います」と大橋基地長。



機動救難士 村上彰宏(30歳)

「現場で救急救命士とお互いの打ち合わせした後は、個々で作業しなければなりません。ヘリからのリベリング降下も危険が伴います。でも「ありあけ」や、和歌山沖の漁船転覆事故、そして東日本大震災でも多くの人命救助を行うことができ、たくさんの人を救助することにやりがいを感じます」



機動救難士 多田浩司(31歳)

「潜水士と違って機動救難士はヘリで現場に速く到着して、その分大勢の人命救助を行えます。でも以前勤務していた第六管区には機動救難士がいなかったので救難士を希望するにあたって第五管区に来ました。いまは訓練の日々ですが、一日もはやく現場出動のあかしであるオレンジ服を着て多くの人命を救助したいと思っています」

## 変化が必要 進化する関空に対応した

もちろん災害だけではなく、関西空港を取り巻く状況の変化に対応した治安維持の努力も怠ってはいない。今後、関西空港に乗り入れる航空会社の増加も見込まれ、現在LCC国際線専用第3ターミナルの建設も進んでいる。関空基地としては、関空の離発着機能の増大を踏まえ、万が一の事故に対応する体制をしっかりと高めていくことを重要な使命だと考えている。

また外国人観光客も増加の一途をたどっている。平成32年には東京オリンピックが開催される、関空経由で入国してく

る外国人の増加も予想されている。そして重要視されているのがテロ対策で、巡視艇を使って海からの取り締まりをしていくとともに、航空機を活用しての警戒も強化していくという。

「関空とその周辺の状況もどんどん変化しています。関空基地もそれに対応して進化していかなければならない。今年機動救難士が発足して10周年を迎えましたが、この10年の間に1000件出動して300名を救助するなど、関空基地は大きな足跡を残している基地ですし、その能力はこれからも発展させなければなりません」と考えています」と大橋基地長。

事故や災害はもちろんのこと、犯罪やテロなどから安全を守るといふ使命は今後ますます強くなっていくことだろう。

関西空港海上保安航空基地

## 海と空から関空周辺の安全と治安を守る

### 三位一体の職場を二人三脚で支える

山形和也(31歳)・佳澄(32歳)夫妻



山形和也さんは救急救命士の資格を持った機動救難士として人命救助に携わっている。佳澄さんはかつては船艇に乗務していたが、現在は地上勤務。「陸上での仕事もやりがいがあります」とのことだ。

関空基地に夫婦揃って勤務する山形夫妻。知り合ったのは保安学校時代だそうで、卒業後和也さんは第六管区に、佳澄さんは第一管区にそれぞれ配属。そして平成21年の秋に結婚した。

異動が多い海上保安庁で、夫婦で勤務しながら同居というのはなかなか大変で、結婚を機に海保を退職する女性も多い。まして山形夫妻は違う管区に勤務していたが、「結婚してもできる限り働きたい。と思っていました」という佳澄さんは第五管区への異動を希望したという。そして希望が通って第五管区に異動。しかも勤務先は和也さんと同じ関空基地だったのには夫妻とも驚いたとか。ちなみに現在は結婚を機に管区を異動する例も増えたとか。

佳澄さんはその後第1子を出産。産休、

育児休業を経て、現在は育児時間の制度を利用し勤務をしている。「生活に支障が出ませんし、子育てにもとてもありがたい制度です」とは和也さん。

救急救命士の資格を持つ和也さんは、有事の際には30分以内に基地に駆けつけることができる距離に住む必要があり、もし佳澄さんが異動となった場合、その場所によっては同居が困難となってしまう可能性があるが、それだけに、現在同じ基地勤務で親子3人が同居していることに夫妻は幸せを感じているようだ。

海上保安庁では女性職員の比率を増やす傾向にあり、同時に結婚、出産後も勤務を続けやすい職場環境作りを進めている。今後は山形夫妻のような共働き職員も増えていくことだろう。



現場出動を目指す新人機動救難士の訓練は過酷。ヘリコプターからの降下、ストレッチャーでのつり上げなど実践さながらの訓練も行われている。





# 関西国際空港 エトセトラ

特集では伝えきれなかった関西国際空港をここで

● 関西国際空港

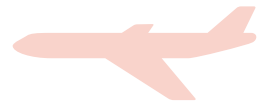


開港時は旅客ターミナルビルと呼んでいたが、第2ターミナルビル（T2）の開業で名称を第1ターミナルビルに変更した。エアバスA380の姿も見える。

レンゾ・ピアノがデザインした第1ターミナルビルは、関西空港駅やホテル日航と直結している。

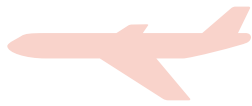


日本の国内からは姿を消したジャンボジェットだが、国際線ではまだ大活躍中。ハイテクジャンボB747-400が主力だ。



**平**成6年の開港から21年を迎えた関西国際空港は、平成26年度の航空機発着回数14万5037回、航空旅客数2004万6695人、航空貨物取扱量74万823トンを超えた。開港以来荷物のロストが1件もないなど、セキュリティ面では世界トップクラス。そんな関西空港のシンボルは第1ターミナルビル。イタリア人建築家レンゾ・ピアノがデザインし、構造設計はイギリス・アラップ社が担当した。LCCのピーチ・アビエーションを除く国際、国内線が発着し、海外航空会社の国際線ではボーイング747-400「ハイテクジャンボ」やエアバスA380といったエンジン4発の大型機も飛来する。LCCのピーチ・アビエーションは第2ターミナルビルから発着するが、現在建設中の第3ターミナルビルが完成すると、T2はLCC国内線、T3はLCC国際線専用となる予定。





## ● 関空展望ホール

**関**空展望ホールはターミナルビルから離れた場所にある。メインホールとエントランスホールで構成され、エントランスホール3階がレストランフロア、4階がショッピングフロアとメインホールとの連絡橋があり、メインホールは4階がスカイデッキとスカイデッキカフェ、5階がスカイデッキ、そして3階がスカイミュージアムとなっている。

スカイデッキからは関西空港を離着陸する航空機を見学することができるほか、エントランスホール3階のレストラン「レジェンド オブ コンコルド」では機内食を体験することができる。事前に予約すればビジネスクラスやファーストクラスの機内食も体験することが可能だ。またメインホール3階のスカイミュージアムでは、飛行機に関する様々な知識を学べ、体験することができるほか、海上保安庁コーナーも設置されている。

展望ホールには有料駐車場（二輪は無料）があるほか、第1ターミナルビルからシャトルバスを運行。またりんくうプレミアムアウトレットからもバスが運行されている。



スカイデッキはメインホールの4階と5階にあり、関西空港を一望できる。そして隣には関空基地がある。



メインホール3階のスカイミュージアムでは、楽しみながら航空機のことを学ぶことが可能だ。フロアには海上保安庁のコーナーもある。



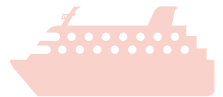
エントランスホール3階のレストラン「レジェンド オブ コンコルド」では機内食を体験することもできる。

## ● 高速船



**関**西空港と神戸空港を約30分で結ぶ高速船「ベイ・シャトル」は、速力30ノットの双胴高速艇が45分～1時間半間隔で運行している。関西空港はポートターミナルから出入港し、関西空港第1ターミナルとの間は専用連絡バスを利用する。神戸空港側はシャトルバスも運行されるが徒歩によるアクセスも可能。また専用駐車場を利用すればパークアンドライドによる利用もできる。

双胴高速艇は「umi (うみ)」と「sora (そら)」の2隻。速力は30ノットで定員は110名。バリアフリー席6席を配置するほか、バリアフリー設備は充実している。



**関**西空港から関西エリアへのメインアクセスとなるのが連絡橋を渡る高速道路と鉄道。鉄道はJR西日本と南海電鉄が関西空港駅まで乗り入れている。りんくうタウン駅～関西空港駅間は同じ線路上をJRと南海の電車が共用して走行する。このスタイルは全国でもあまり例がない。関西空港駅は関西空港と直結していて利便性が高い。

南海の電車はなんば駅まで直通列車や特急「ラピート」を運行。JRは天王寺、大阪方面へ直通する関空快速と、天王寺、新大阪、京都方面に直通する特急「はるか」を運行している。また南海は泉佐野乗り換えで和歌山市へ、JRは日根野の乗り換えで、和歌山方面に向かうことができる。



## ● 関西空港駅



関西空港駅は第1回近畿の駅百選にも選ばれた。

# NEWS FLASH



十管区

## キッズ未来フェスタに参加

3月7日 第十管区海上保安本部



八管区

## 集え!八管に! ~初の試み!舞鶴市内5箇所に懸垂幕等を設置~

3月24日 第八管区海上保安本部



五管区

## 美浜町自己救命策啓発看板設置

4月7日 田辺海上保安部



十管区

## さつま潜水士が「青少年自然の家」職員に安全講習

4月21日 鹿児島海上保安部



大学校

## 海上保安大学校入学式

4月11日 海上保安大学校



四管区

## 「海の安全守り隊」平成27年度始動!!

4月26日 第四管区海上保安本部



八管区

## 八管区初の女性制圧指導員が誕生

5月1日 浜田海上保安部



学校

## 海上保安学校入学式

4月10日 海上保安学校



三管区

## 犬吠埼灯台への鯉のぼり掲揚

5月3日~5日 銚子海上保安部



二管区

## 4名救助、妻と一緒に表彰を喜ぶ

5月1日 宮城海上保安部





六管区  
病院祭において海上保安展を実施  
5月17日 宇和島海上保安部



本庁  
旧海洋情報部庁舎の跡地(中央区築地)に水路記念碑を設置  
5月12日 本庁海洋情報部



七管区  
「七管特別展示」を開催  
5月9日、10日 第七管区海上保安本部



九管区  
新潟航空基地吊上げ救助者数延べ300人  
5月10日 新潟航空基地



一管区  
釧路空港基地?!FM生放送出演  
5月15日 釧路航空基地



三管区  
税関、警察との合同による街頭キャンペーン  
5月20日 下田海上保安部



一管区  
市民から似顔絵寄贈  
5月22日 室蘭海上保安部



十一管区  
石垣航空基地に機動救難士が発足!  
5月15日 石垣航空基地

## 第16回未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール作品募集

●主催:海上保安庁 ●共催:(公財)海上保安協会

海上保安庁では下記の日程で「第16回未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール」の作品募集を開始します。優秀作品については表彰を行うとともに、海洋環境保全ポスターや当庁印刷物に使用します。

募集テーマ 「未来に残そう青い海」

募集期間 平成27年6月1日(月)から9月9日(水)までの間

募集部門 小学生低学年の部、小学生高学年の部、中学生の部



国土交通大臣賞  
小学生高学年の部  
にしむらすめ  
西村董さん



海上保安庁長官賞  
小学生低学年の部  
こだまともき  
児玉朋樹さん



海上保安庁長官賞  
小学生高学年の部  
よしはらい  
吉原界さん



海上保安庁長官賞  
中学生の部  
むらきはるな  
村木晴菜さん

作品は昨年度のものです

応募の詳細については海上保安庁ホームページをご覧ください。▶▶▶ <http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/kouhou/h27/k20150520/k150520-2.pdf>

INFORMATION

# 大切な命！自分で守る

～海上保安庁からのお願い～

マリレジャーを安全に楽しむために、事前に海の気象情報・安全情報を収集し、  
もしもに備えて、「自己救命策確保3つの基本」を守りましょう！

## 自己救命策確保3つの基本



1  
海に落ちても沈まない  
**ライフジャケットの常時着用**



2  
水中でも大丈夫(防水バックの使用)  
**携帯電話の携行**



3  
海のもしもは……  
**118番の活用**

## 海上保安大学校・海上保安学校採用試験

海上保安庁では、当庁の職員の養成機関である海上保安大学校及び海上保安学校の学生を募集しています。試験は、高等学校等卒業者を対象に行われます。試験の日程については、下記のとおりです。詳しくは、最寄りの海上保安本部または海上保安庁総務部教育訓練管理官付学校教育係（Tel：03-3580-0936）までお気軽にお問い合わせください。



### 平成27年度 採用試験日程



海上保安大学校 学生採用試験

受付期間	インターネット 平成27年8月27日(木)～9月7日(月)
	郵送・持参 平成27年8月27日(木)～8月31日(月)
第1次試験	平成27年10月31日(土)、11月1日(日)
ホームページ	<a href="http://www.jcga.ac.jp/">http://www.jcga.ac.jp/</a>



海上保安学校 学生採用試験

受付期間	インターネット 平成27年7月21日(火)～7月30日(木)
	郵送・持参 平成27年7月21日(火)～7月23日(木)
第1次試験	平成27年9月27日(日)
ホームページ	<a href="http://www.kaiho.mlit.go.jp/school/">http://www.kaiho.mlit.go.jp/school/</a>



学生採用試験ホームページ

<http://www.kaiho.mlit.go.jp/ope/siken.html>

